

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年五月度 入選句（投稿総数千九百三十七句・一般投句数六百七十句）

選者 大橋庄一郎

特選

先帝の御世は激動昭和の日 愛知県名古屋市 岩田 遊泉

四月二十九日は昭和天皇のお誕生日でありこの日は、当初「みどりの日」とされていたが、平成十九年「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、國の将来に思いをいたす」として「昭和の日」となった。若くして即位なされ、一部の軍部の好戦主義を押しさえれず、世界の大半の國を相手の太平洋戦争になり敗戦、その終戦処理を始め前例の無い激務を最高責任者として、素晴らしい処理をして頂き、日本の繁栄隆盛を導かれました。その昭和天皇の功績を讃えられた素晴らしい句です。

火の国に応援送る岐阜の春 高知県須崎市 野中 泰佑

熊本地震は四月十四日夜に前震が、四月十六日未明に本震が観測され、観測史上初めて同じ場所地震度七を二度も記録した。震度一以上の余震も五月十九日迄に一五〇〇回有り、これも観測史にない大記録で、大変な地震です。岐阜県は県を始め各自自治体が医療関係、建設土木関係等の人材派遣、大垣市も小川敏市長さんを始め各種団体からも応援お手伝いに行かれ、被災者救援義援金も大変な額が集まって居り、岐阜県の人、大垣の人の人情の厚さが現はれている。いい句であり、特に中句がいい。

粽解く故郷の笹の音させて 安八郡神戸町 高橋 泰

粽は中国から渡来して来たもので、昔中國の詩人屈原が五月五日に亡くなった事を偲び、粽をお供える様になりました。食べれば免疫がつき悪い病気や災難を除く事が出来、子供の健やかな成長を願う縁起を担いで食べる様になりました。現在の粽は笹の葉っぱで包んでいますが、昔は「チガヤ」（茅）という植物の葉っぱを使っていたため「ちまき」と呼ばれる様になりました。粽を故郷から送ってもらい、笹を取り乍ら故郷を偲ばれるよい句です。

秀逸

入園式皆の上着の大きかり	大垣市	谷	睦月
新入生服も笑顔もさくら色	大垣市	谷	彩虹
入道雲伊吹を見せず夏盛り	大垣市	吉川	松月
花の下昭和の話持ち切りに	大垣市	鶴田	信子
枝垂れ桜川面鏡に化粧をり	愛知県弥富市	佐藤	尚美
校章をつけて胸張る新入生	養老郡養老町	田中	紫香
熊本の名城罹災春かなし	不破郡垂井町	西田	厚堂
さくらもち母おわす日のなつかしく	大垣市	田中	玉楓
露地裏に稽古の少年祭笛	不破郡垂井町	久保田	紘義
青麦の穂波の上になてみたし	石川県加賀市	西郡	まゆみ

入選

春うららおにぎりリュックに花筵
花嫁に今日とび切りの花ふぶき
川風に跳ねて三百鯉のぼり
澄む水にのど潤ほして芭蕉館
たらい舟青葉まぶしやむすび旅
成人式待てずに見せる晴着かな
葉桜や結びの句碑は丸四角
竹杖に今寿あづけて初夏の城
大垣に嫁いで老いぬ花は葉に
仏法僧静寂を透いて鳴きつづく

大垣市 田中 千代
福岡県福岡市 江藤 豊子
大垣市 三輪 千芽
愛知県一宮市 佐々 房子
埼玉県さいたま市 木下 清美
大垣市 吉川 松月
徳島県阿南市 大西 裕子
養老郡養老町 田中 秀子
大垣市 棚橋 昭子
不破郡垂井町 高木 紫雲

入選

伊勢志摩の島々そこに夏隣る
靖国の開花宣言空あおぐ
風止みて暫し退屈鯉のぼり
稚児二齒の生えて不揃ひ初節句
飛驒の宵古典に酔いし春祭り
花屑をまとひて下る盃船
鯉のぼり風に膨らみ太鼓腹
ブランドで無くても新茶は新茶かな
霊峰を映す植田や散居村
花筏川の余白を埋め尽くす

不破郡垂井町 西田 厚堂
大垣市 平野 きぬよ
大垣市 早崎 美弥子
岐阜市 堀江 美州
不破郡垂井町 田中 不二夫
大垣市 澤井 国造
福岡県田川郡 成松 義紀
三重県鈴鹿市 松井 政典
愛知県豊田市 城山 憲三
瑞穂市 谷 牛歩

選者吟

庭のなき淋しさあじあう植木市

庄 一 郎